

松本市基幹相談支援センター会議・研修会報告

会議・研修会名 令和8年度 第2回しごと部会	開催日：令和8年6月1日（月） 時間：16:00～17:00
参加者構成機関名 障がい者就業・生活支援センターしえるば、長野県寿台支援学校、松本公共職業安定所、就労継続支援A型事業所 toivo(欠)、就労継続支援B型事業所あいわーくす、就労移行支援事業所ハートフル キャ ンバス、ぴあねっと・まつもと、松本市役所障がい福祉課 松本市障がい者基幹相談支援センター(事務局)	計 10 名

会議内容

1. 令和8年度しごと部会活動計画について

年間活動計画案が提示され、内容の確認を行い、部会内で承認された。

今年度の目標は次の2点とした。

- ① 支援を必要とする方に対する支援体制や社会資源の周知を図ること。
- ② 一般就労と福祉就労の垣根を越えた支援体制について情報発信を行い、説明会やシンポジウム等を通じて連携強化を図る

また、これらの目標を達成するためには、部会員や関係機関が主体的に参画しながら取り組みを進めることが重要であり、その推進役として実行委員会の存在が必要であるとの意見が共有された。

年間計画に基づく開催日程や内容について確認を行い、部会内で承認された。

2. イベント開催に向けた検討

(1) イベントの形式について

【主な意見】

- ・ 制度やサービス内容が専門的になりすぎると理解しにくいいため、まずは全体像が分かる講義があると良いのでは。
- ・ 前半に制度や支援体制の全体説明を行い、後半に事業所や機関ごとの説明を行う二部構成が良いのではないかと。
- ・ 支援機関同士の連携体制や役割分担が分かる資料があると理解しやすい。
- ・ 他専門部会から意見や要望を集め、企画内容へ反映することも良いのでは。

【方向性】

具体的には、

- ・ 対象者へどのように情報を伝えれば理解しやすいか
- ・ 事業所や支援機関の役割をどのように伝えるか
- ・ 支援体制をどのように見える化するか

といったテーマについて連絡会で議論し、その結果をフォーラム企画へ反映させることとした。

3. 検討課題

イベント開催に向け、以下の取り組み事項や課題が整理された。

- 12月開催を予定する場合、11月上旬には案内を発送する。
- 対象については、学生やその保護者等複数挙げられており、今後の検討で調整をする。
- 寿台支援学校および松本支援学校からは、1年生を主な対象とすることがイベント内容に適しているのではないかと意見が出、生徒数は約30名であることが共有された。
- 保護者への周知については、学校を通じたチラシ配布等が有効ではないかとの意見があった。
- イベントの時間配分については、「全体説明1時間+自由参加型企画1時間」などの案が示された。
- 過去の取り組みでは、参加者が面接会や就職説明会と誤解するケースもあったことから、フォーラムの目的を明確に周知する必要があることが確認された。
- 連絡会でイベント開催に向けてどのような内容を取り組むかを含め拡く意見を募ることが検討された

4. 次回に向けて

- イベントで取り組む内容として、①全体像が分かる講義と②連絡会を踏まえて取り組み方や内容を整理する。そこで、次回専門部会までに、イベント開催にむけて全体説明部分の内容について各部会員が検討し、具体案を持ち寄る。
- イベント運営を担う実行委員の選出方法についても引き続き検討することとした。

以上